

令和6(2024)年度 札幌山の手高校 学校評価 (生徒)

区分	No.	評価項目	評価(パーセント)				
			5	4	3	2	1
			強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	強く そう思わない
教科 指導	1	授業時数が確保されていた	65.1	27.8	5.3	1.1	0.7
	2	学びなおしを意識して、学習面での弱点克服に努める体制が取られていた	40.6	36.2	13.8	6.7	2.8
	3	授業でコンピュータなどICT(情報通信技術)機器を利用したり、アンケートなどでも利用がされていた	59.3	30.6	7.6	1.4	1.1
	4	自分たちが考えたり行動する授業が行われていた	43.4	37.0	12.6	4.6	2.3
	5	授業を受けて、学力などが身についたと思えた	44.7	38.2	11.5	3.9	1.6
	6	さまざまな資格取得に積極的に挑戦するための取り組みがなされた	35.7	30.6	21.2	7.6	4.8
	7	授業以外での学習を日常的・計画的に行うような取り組みがなされた	36.9	33.2	16.6	9.2	4.1
	8	学力向上のために、自分で様々な努力をすることができた	38.0	37.1	13.1	7.1	4.6
	9	部活動と学業の両立ができる体制が取られた<部活動に所属している生徒のみ>	48.5	29.4	15.4	3.5	3.2
進路 指導	10	進路(将来)について、よく考えることができた	39.4	36.2	15.9	6.7	1.8
	11	進路(将来)について、自ら行動することができた	37.1	33.4	16.6	9.2	3.7
	12	課外授業や講習に積極的に参加するよう取り組みがなされた	36.3	34.4	16.9	7.6	4.8
	13	Yシステムなど学校の施設やシステムの利用を通じて、自身の学力を向上する体制が取られていた	28.2	24.0	23.6	12.9	11.3
生徒 指導	14	事故防止や健康管理を意識して生活するための対策が取られていた	39.7	34.6	15.7	6.7	3.2
	15	いじめに加担することなく、またいじめを防止するという意識をもった生活ができた	64.9	25.2	6.9	2.3	0.7
	16	身だしなみ、挨拶をしっかりと意識した生活をし、遅刻をしないような生活ができた	59.1	27.5	7.2	3.7	2.5
	17	悩みごとがあれば、先生やスクールカウンセラーに相談できるようになっていた 社会全体の多様性を受け入れる動きについて理解を深める指導がされていた	32.3 37.9	28.2 37.6	27.3 15.9	8.3 5.5	3.9 3.0
特別 活動	18	グローバルな意識を持った行動をすすめていた	37.0	34.6	21.7	3.5	3.2
	19	課外活動(部活動や生徒会・委員会活動など)に積極的に取り組む体制が取られていた	47.3	31.4	15.2	3.9	2.1
	20	地域に支えられているという意識の上、地域周辺の安全にも配慮した行動を取る指導がなされた	43.0	35.3	15.5	3.7	2.5
管理 運営	21	安全と安心に配慮した、衛生に対する対策と対応が取られていた	44.8	37.0	12.9	3.5	1.8

令和6(2024)年度 札幌山の手高校 学校評価 (保護者)

区分	No.	評価項目	評価(パーセント)				
			5	4	3	2	1
			強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	強く そう思わない
教科 指導	1	授業時間が確保されていた	5.9	52.9	35.3	5.9	0.0
	2	学びなおし対策が整えられていた	11.8	47.1	29.4	11.8	0.0
	3	資格取得に積極的に取り組める体制が整えられていた	17.6	29.4	41.2	11.8	0.0
	4	生徒の日々の学習を習慣づける対策が取られていた	11.8	23.5	52.9	11.8	0.0
	5	生徒が自学自習できる体制が整えられていた	11.8	35.3	47.1	5.9	0.0
	6	部活動と学業を両立させる対策がとられていた<生徒が部活動に所属している家庭のみ>	23.5	35.3	17.6	11.8	5.9
進路 指導	7	進学や就職に対する情報が提供されていた	17.6	29.4	41.2	11.8	0.0
	8	進学や就職に対しての活動の働きかけがなされていた	17.6	35.3	35.3	11.8	0.0
	9	課外授業や講習の体制が整っていた	17.6	35.3	35.3	11.8	0.0
	10	Yシステムを認知するよう取り組みがなされていた	5.9	41.2	29.4	11.8	11.8
生徒 指導	11	生徒の事故防止対策や健康管理対策がとられていた	29.4	47.1	23.5	0.0	0.0
	12	いじめ根絶にむけた指導体制が整えられていた	29.4	29.4	35.3	0.0	5.9
	13	基本的な生活習慣が定着するよう徹底されていた	23.5	35.3	35.3	5.9	0.0
	14	教育相談を充実させる体制が整えられていた	17.6	23.5	47.1	5.9	5.9
	15	社会全体の多様性を受け入れる動きを理解し、生徒にもその理解を深める指導がされていた	17.6	41.2	35.3	5.9	0.0
特別 活動	16	国際意識を高める動きがみられた	29.4	17.6	52.9	0.0	0.0
	17	課外活動(部活動・生徒会や委員会活動など)の成果が出ていた	47.1	35.3	5.9	11.8	0.0
	18	ボランティア活動や交通安全運動など、地域に愛される取り組みがされていた	29.4	41.2	23.5	5.9	0.0
広報	19	学校ホームページなどの広報活動が充実していた	17.6	41.2	29.4	5.9	5.9
管理 運営	20	生徒の安全と安心に配慮した、衛生に対する対策と対応が取られていた	17.6	52.9	23.5	0.0	5.9

令和6(2024)年度 札幌山の手高校 学校評価 (教職員)

区分	No.	評価項目	評価(パーセント)				
			5	4	3	2	1
			強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	強く そう思わない
教科 指導	1	授業時間が確保されていた	12.9	51.6	22.6	9.7	3.2
	2	学びなおし対策を全校的に取り組めた	9.7	32.3	38.7	19.4	0.0
	3	ICT(情報通信技術)教育を自らの授業などに取り入れることができた	38.7	41.9	9.7	9.7	0.0
	4	アクティブラーニングや探求型学習など、生徒の主体性を重視したまなびを取り入れることができた	16.1	38.7	41.9	3.2	0.0
	5	生徒にとってわかりやすい授業づくりを意識的に行うことができた	19.4	58.1	22.6	0.0	0.0
	6	資格取得ができるよう体制が強化されていた	3.2	32.3	41.9	19.4	3.2
	7	家庭学習を習慣化する対策が取られていた	0.0	29.0	35.5	32.3	3.2
	8	生徒ひとり一人の学力・能力が向上するよう努めることができた	12.9	48.4	38.7	0.0	0.0
	9	授業指導力の向上を図り、研修会への参加などを積極的に行うことができた	12.9	12.9	35.5	35.5	3.2
	10	休み時間や部活動練習・遠征の合間に勉強するよう指導し、学業と部活動の両立が図られていた	6.5	41.9	22.6	22.6	6.5
進路 指導	11	コースの目標や特性を把握した上で、その実現を目指したキャリア教育を推進できた	6.5	54.8	29.0	9.7	0.0
	12	進学・就職実績の向上に対する取り組みがあった	16.1	38.7	35.5	3.2	6.5
	13	課外授業や講習の体制が整っていた	3.2	19.4	29.0	38.7	9.7
	14	Yシステムなど学校の施設やシステムの利用を通じて、個々の能力増進を進路に結び付けられていた	3.2	12.9	12.9	25.8	45.2
	15	高大接続改革などや、学習指導要領改訂に伴う準備への取り組みがあった	3.2	16.1	48.4	19.4	12.9
生徒 指導	16	交通安全や施設利用などにおける生徒の事故防止対策、健康管理の注意喚起などが行われていた	12.9	64.5	16.1	6.5	0.0
	17	生徒に寄り添う指導を徹底し、(身体的および精神的な)いじめ根絶にむけた指導体制が整えられていた	6.5	61.3	25.8	3.2	3.2
	18	基本的な生活習慣が定着するよう徹底されていた	12.9	54.8	29.0	0.0	3.2
	19	教育相談を充実させる体制が整えられていた	22.6	45.2	29.0	3.2	0.0
	20	社会全体の多様性を受け入れる動きを理解し、生徒にもその理解を深める指導ができた	6.5	41.9	38.7	12.9	0.0
	21	怠学による、または心の病気による不登校や退学者の防止対策を実施することができた	6.5	29.0	48.4	12.9	3.2
特別 活動	21	国際理解教育の推進が図られていた	9.7	19.4	41.9	25.8	3.2
	22	部活動や生徒会・委員会活動などの成果が出された	12.9	45.2	25.8	16.1	0.0
	23	ボランティア活動や交通安全運動など、地域に愛される取り組みができていた	12.9	64.5	16.1	3.2	3.2
広報	24	広報戦略の強化をし、積極的な生徒募集活動による生徒確保ができていた	9.7	58.1	22.6	9.7	0.0
	25	学校案内・募集要項・ホームページの広報面での充実が図られていた	9.7	35.5	41.9	9.7	3.2
管理 運営	26	体罰の禁止や、誠実な生徒・保護者対応など服務規律の保持に努めることができた	19.4	48.4	25.8	3.2	3.2
	27	安定した学校経営を目指し、効率的な予算執行ができた	6.5	3.2	29.0	35.5	25.8
	28	職場環境の整備が図られていた	0.0	3.2	29.0	16.1	51.6
	29	生徒・教職員の安全と安心に配慮し、衛生に対する対策と対応が取られていた	3.2	16.1	35.5	29.0	16.1